

「第6期富田林市障がい福祉計画・第2期富田林市障がい児福祉計画（素案）」 に対するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

■ 募集期間

令和3年1月4日（月）～1月31日（日）

■ コメントの状況

提出数：2通（Eメール：2件）

2. パブリックコメントの結果

No.	コメント概要	コメントに対する市の考え方
1	私は発達障がい者の保護者の親の会を運営しています。ボランティアでペアレント・トレーニングの実施も、ペアレントメンター事業もやっていますが、市のほうから具体的になんのサポートもいただけておりません。全て会員の会費や参加者の参加費で賄って運営していて、利益はゼロです。 ペアトレについては、今年度はコロナ対策のため実施を見送りましたが、私たちのペアレント・トレーニングは市の方から案内される参加費の半分の費用で実施していて、ほとんどボランティアで開催しています。事前の面談も丁寧に行っております。行政の方で連携を取っていただけないかとお願いしましたが、すでに依頼しているところがあるということで、事業内容について比較検討すらしていただけておりません。また、実際に実施しているペアトレについても、補助金がいくらであるとか、実施計画や、参加人数やアンケート等実績が不透明であると思います。補助金の制度があるのであれば、助成金やプロポーサル方式などで公正に審査し、平等に事業を実施できるよう、不公平感をなくしてほしいと思います。 ペアレントメンターの活動も、市の子ども未来室などに話をしましたが、予算がないので何もできないと言われ、何もして頂けておりません。事業の周知とありますけど、事業の周知って具体的にどういうことでしょうか。他市の方からはメンター事業の派遣依頼があり、私たち法人で請け負って活動していますが、富田林からは全くありません。市のホームページに紹介されているところがありますが、それを周知に努めるといって	ペアレントトレーニングに関する補助金につきましては、ご意見も参考にさせていただきながら、関係要綱に基づき今後も公平・公正な交付に努めてまいります。 なお、補助金額につきましては、市ウェブサイトにて、交付団体及び交付実績等を公表しております。 ペアレントメンターにつきましては、ご意見も踏まえながら、障がい理解の促進を進めるうえで、参考にさせていただきます。

	るのであれば、それは取り組みとは言えないと思います。 富田林の保護者支援は立ち遅れていると思います。一番懸念するのは、発達障がい者の子どもの保護者の孤立です。そして発達障がい者の親であるという同じ立場のお母さん達の連携無しに健全な子育ては絶対にできません。そのような機会をバックアップし、市としてしっかりと連携を取ってほしいと思います。	
2	当法人は発達障がい者の保護者の親の会を運営しています。ボランティアでペアレント・トレーニングの実施も、ペアレントメンター事業もやっていますが、市のほうから具体的になんのサポートもいただけておりません。全て会員の会費や参加者の参加費で賄って運営していて、利益はゼロです。 ペアトレについては、今年度はコロナ対策のため実施を見送りましたが、私たちのペアレント・トレーニングは市の方から案内される参加費の半分の費用で実施していて、ほとんどボランティアで開催しています。事前の面談も丁寧に行っております。代表は社会福祉士であり、社会福祉士会に在籍し相談援助業務などの研修を重ねておりますし、会員の3名が、ペアレントトレーナー研修を受けています。さらにペアレントメンターの資格を取得しており、同じ保護者としての傾聴の姿勢や共感すること、地域のリソースブックを作成し情報提供できるよう環境調整を行っています。保護者の集まりではありますが、より専門性を高めるべく、日々鍛錬を続けています。 ペアトレを実施するにあたり、行政の方で連携を取っていただけないかとお願ひしましたが、すでに依頼しているところがあるということで、事業内容について比較検討すらしていただけませんでした。また、実際に実施しているペアトレについても、補助金がいくらであるとか、実施計画や、参加人数やアンケート等実績が不透明であると思います。補助金の制度があるのであれば、助成金やプロポーサル方式などで公正に審査し、平等に事業を実施できるよう、不公平感をなくしてほしいと思います。	No. 1 に同じ